

事務事業名		住宅支援給付事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	こども福祉部	担当課	社会福祉課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり					担当係	保護係	担当課長名	向田紀之	
	施策	3 地域福祉の推進と生活保障の充実					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 就労支援の強化と生活保護の適正運営					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	6723	一般	3	3	1	住宅支援給付事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		国県補助事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	21年度～27年度		根拠法令 条例等	佐野市住宅支援給付事業 実施要綱					
	事業区分						任意的事業・義務的事業		義務的事業		
	事業区分						実施方法		直営		
事業区分						事業分類		現金・現物給付事業			
事業区分						リーディングプロジェクト		該当なし			
事業区分						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
ハローワーク、社会福祉協議会と連携を取りながら、離職者であって就労能力及び就労意欲のある者のうち、住宅を喪失している者又は喪失のおそれのある者に対して、最長9カ月間住宅手当を支給することにより、これらの者の住宅及び就労機会の確保に向けた支援をすることを目標とする。			・事業費の内訳 住宅支援給付の相談、住宅支援給付の支給、就労支援							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			相談者数	人	21	30	0	0	0	
			述べ相談回数	回	91	120	0	0	0	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
離職者であって住宅を喪失している者又は、喪失のおそれのある者。			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			住宅手当相談者数	人	21	30	0			
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
目的 離職者で住宅を喪失、又は喪失のおそれのある人に住宅手当を支給し、就労に結び付ける。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			住宅手当支給件数	件	15	30	0			
			就労件数	人	9	15	0			
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
経済的に自立し、生活を送ってもらうようにする。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			就労が契機となって自立廃止した世帯	世帯	1	5	0			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円		3,398	3,697	831				
	地方債	千円								
	その他	千円		8	9					
	一般財源	千円		1	1					
	事業費計(A)	千円		3,407	3,707	831	0	0		
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			報酬	1,737	報酬	1,737	扶助費	831		
			共済費	257	共済費	273				
扶助費			1,413	扶助費	1,697					
人件費	人		12	12	12					
のべ業務時間	時間		200	200	200					
人件費計(B)	千円		778	788	788	0	0			
トータルコスト(A)+(B)	千円		4,185	4,495	1,619	0	0			

事務事業名	住宅支援給付事業	担当部	こども福祉部	担当課	社会福祉課	担当係	保護係
-------	----------	-----	--------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	経済状況の悪化に伴い雇用情勢が急速に悪化しつつあるため、厚生労働省の緊急雇用対策として、平成21年10月から離職者であって就労能力及び就労意欲のある者のうち、住宅を喪失している者又はおそれのある者に対して、住宅手当を支給することにより、これらの者の住宅及び就労機会の確保に向けた支援を行うことを目的とし開始され、平成24年4月より住宅支援給付事業と名称が変更になった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成21年10月から始まった新しい制度である。開始当初に比べ対象者は減少しているが、今後景気が回復し、雇用情勢が安定するまではこれ以上の対象者減は考えられない。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	生活保護法以外の制度ができたことは望ましい。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	住宅手当を支給することにより、生活の一部を援助し就労活動に専念することが出来て施策に合致する。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	経済状況や雇用情勢の悪化により創設された補助事業のため。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	住宅を喪失している者又は喪失する恐れのある者が就労により、安定した生活を再建し、地域社会への参加や、就労市場を形成するための支援であり、妥当と判断する。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	ハローワーク、社会福祉協議会と連携するとともに、住宅支援給付を支給することにより求職活動に専念するための支援を行っている。就労活動は対象者が行うものである。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	平成27年度から生活困窮者自立支援法により制度化された。27年度は26年度中に支給決定した延長分のみとなるため、平成27年12月31日で事業終了となる。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	事業の性質上、受益者負担は求められない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	平成27年度から生活困窮者自立支援法により住居確保給付金事業に制度化された。27年度は26年度中に支給決定した延長分のみとなるため、平成27年3月31日で事業終了となる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業終了	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持			×																					
	低下		×	×																					